

建設文教委員会

10月27日・28日

向上に役立っている、ということ等を学んだ。



▲建設文教委員会（福井県若狭町）

◆視察先 福井県若狭町
農村地域の活性化及び振興策について

- 町には2千ヘクタールの農地が有り、高齢化と後継者不足により試験にたたされている。
- 保全の面から農業・農村の再生が必須であるという観点から担い手を期待し、「就農定住研修事業（2年間）」を立ち上げた。
- 都市からの若者の就農、定住を促進し、集落を活性化する「有限会社かみなか農楽舎」を設立した。指定管理料は350万円、育成料は200万円。
- 費用は今年度が1億2千万円。
- 維持管理費（リース料）が24年度から30年度までで6億2千万円。
- ICTを利用して「気づき」を育てられるようにしている、また学力の

議会運営委員会

11月1日・2日

◆視察先 長野県伊那市
議会改革について

- 市民に信頼される議会
- 活発な議会
- わかりやすい議会
- 市民に開かれた議会
- 議会機能強化を目指す。



▲議会運営委員会（岐阜県高山市）

- ②どの委員会にも馴染まないが検討するもの
- ③部局への要望として繋ぐもの
- ④市長への提言や国・県へ要請するものに区分しているという説明があった。

◆視察先 岐阜県高山市
議会の政策提言について

- 市民との意見交換会の開催から政策立案まで、市民の生の声を聞き
- ①政策として常任・特別委員会で検討するもの
- 高山市を取り巻く環境は、これまで以上に厳しく予測が難しい状況にある。そんな中、平成25年、全議員をもって構成する「総合計画に関する特別委員会」を設置し
- ①個性ある地域づくり
- ②人口減による新たな行政運営
- ③健康、元氣、安心社会の実現
- ④観光まちづくりへの転換
- ⑤都市施設整備の方向性
- ⑥安全で安心して暮らせる社会の実現
- ⑦環境と共生したまちづくり
- 以上の7つの政策提言を策定している、という説明を受けた。

議会広報特別委員会

11月16日・17日

かりやすくインパクトの有る表現とするか。○市民モニター制度の採用以上のことを学んだ。



▲議会広報特別委員会（山形県大石田町）

◆視察先 山形県大石田町
写真重視した議会だよりづくり

- 制作費用は、印刷製本費46万7千円。1回あたり11万6750円（年4回）。
- 表紙の写真は、手にとってもらうことが大切なので、まず目にとまる写真を中心に、議員自らが撮影している。
- 大切なのは、住民目線で何を目玉にするかを考えること。
- 一般質問は、季節感や議員の表情を出すため、毎号議員の顔写真を撮っている。
- 議案質疑では議員名を出し、説明責任を果たしている。
- 発行は毎月15日厳守。
- 発行は定例会毎。
- 編集は議員のみで行う。
- 編集は議員のみで行う。具体的に実施するため。
- 川西町議会だより発行の目的は、議会基本条例を具体的に実施するため。
- ◆視察先 山形県川西町
市民参加の議会だよりづくり
- 川西町議会だより発行の目的は、議会基本条例を具体的に実施するため。
- 編集は議員のみで行う。
- 発行は定例会毎。
- 発行は毎月15日厳守。
- 一般質問・総括質問は、質問答弁とも質問者本人が責任をもって書く。
- 編集の方針はいかに分